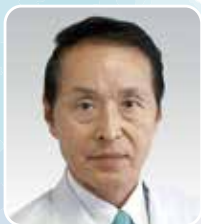




東小学校 4年3組 阿久津 琉那さん

毎年、夏休みに地元小学校3校を対象とした絵画作品コンテストを開催し、当院の外来に展示させていただいております。テーマは「あったらいいな、こんな病院」です。今年度病院賞に輝いた絵をご紹介します。



年頭のご挨拶

院長
細内 康男

旧年中は、群馬県済生会前橋病院の運営にあたり多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございました。昨年を振り返りますと、コロナ感染症は5月8日より5類に移行し社会生活はコロナ前の状態に近づき喜ばしいことでした。一方、医療現場は12月の時点でも多くの病院クラスターが発生し、引き続きコロナ対応を余儀なくされています。当院も高度専門医療、救急医療をしっかりと行いつつ、コロナを含めた感染治療も引き続き対応しなければなりません。院内においてはマスク着用、面会制限をお願いするなどの感染対策を継続しており、引き続きのご協力をお願い致します。

また、昨年は「D-MATカーの更新・救急処置室の改修」をテーマにクラウドファンディングに挑戦しました。恩賜財団済生会の理念、済生会病院が行ってきたこと、これから行うべきことを発信し、共感を頂いた多くの方からのご寄付により目標を達成致しました。職員は頂いた応援メッセージにより、我々が行ってきた医療、福祉の意味、これから進むべき方向を改めて認識致しました。医療・福祉を通して地域に貢献すること、高いホスピタリティ（心からのおもてなし、深い思いやり）をもって医療にあたることの大切さを自覚し、医療人としての誇りを再確認できました。ご支援に心から感謝申し上げます。

当院は高度専門医療を提供する病院として最新の機器を整備してきました。高額医療機器だけでも令和4年は血管撮影装置、令和5年初頭にX線CT診断装置を最新式に更新しました。また令和4年12月に内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチXi）を導入、令和5年2月から稼働しています。令和6年も災害拠点病院として非常用発電機の更新（事業規模2億5千万円）を予定しています。地域の拠点病院として体制整備をすすめ、救急医療、災害医療にも注力してまいります。

当院は各診療科が高い専門性をもって質の高い医療を提供しています。白血病治療センターでは多くの全国規模治験に参加し、他院では治療できない最先端医療、腎臓リウマチ内科では、血液透析に加え、腹膜透析で先進的取り組みを行なうとともに慢性腎疾患（CKD）にも注力しています。消化器内科は胃癌、大腸癌に対する内視鏡治療、また得意とする胆膵領域での検査・治療、全国有数の肝臓治療でも地域に貢献し続けます。腹腔鏡・外科センターでは、ダ・ヴィンチに代表される低侵襲手術を押しすすめます。昨年度までに11700例を超える鏡視下手術を行ってきた基幹施設として、多くの患者さんに安全、安心な最新低侵襲手術を提供することは我々の責務の一つと考えております。全国有数の手の外科である整形外科、熱意あるスタッフが揃う循環器内科のほか呼吸器内科、総合内科、内分泌内科、眼科、県央唯一の緩和ケア病棟も活発に活動してまいります。

これからも更なる質の高い高度専門医療を安心、安全に提供できるよう努力してまいります。引き続き済生会前橋病院へのご支援をよろしくお願い致します。

理念

済生の心とともに質の高い医療を提供し、地域社会に貢献します。

基本方針

高度医療

患者さんの権利と意思を尊重し、安全で高度な先進医療を提供します。

救急医療

24時間断らない医療を行い、急性期病院としての役割を担います。

地域連携

地域の医療機関との連携を推進し、中核病院としての機能を果たします。

人材育成

確かな技術と共感の心を習得し、誇りと責任感を持つ医療人を育てます。

健康経営

全職員が心身ともに明るく希望を持って働ける職場環境を行います。

群馬県済生会前橋病院

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関する個人の情報を保護される権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつつしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただくことがあります。
- 病院の規則を守って下さい。

診療科実績紹介シリーズ

眼科



眼科代表部長
中村 春香

今回は眼科の中村代表部長に『眼』に関する疑問を広報委員がインタビューしてみました。

Q 眼科は検査が多いですが何がわかるのでしょうか？

A 眼科は医師の診察前に視能訓練士という専門性のある検査員が各種検査を受け持ちます。まずは視力検査で視力低下があるか確認します。初診の人は屈折検査と角膜曲率検査で乱視・遠視・近視をしらべ、裸眼視力と矯正視力を視力検査で調べます。裸眼視力がおちていても矯正視力がでていれば眼鏡で対応できます。ちなみに運転免許は両眼の視力で0.7の指標がみえれば普通車免許は合格します。視力検査では患者さんのお困りの見づらさは眼鏡で解決できるのか、できないのかを確認することができます。

眼圧の検査は空気が目にかかってはかる空気眼圧を検査員が行います。これは眼をつむったり、強く力んでしまうと正確に測れません。その場合は医師の診察時に接触式の圧平式の眼圧検査をします。若い人は空気眼圧が苦手な人が多いのでリラックスして受けてください。眼圧検査では目の内圧が異常ではないか、特に高いかを確認しています。眼圧が高いと緑内障になるリスクが高くなります。

その後眼底疾患が疑われる方は散瞳検査を行うことになります。散瞳とは瞳孔を特殊な点眼液（オフミックス）で開くことです。次の眼底検査時にすみずみまで検査できるようにするために必要です。瞳孔を開くときに同時に調節力もなくなるため散瞳した後は4時間近くぼやけて



ピントが合いません（個人差があります）。運転して帰宅する人は注意が必要です。点眼してから診察可能になるまで20分以上かかります。

瞳孔が開いたのち、黄斑部を詳細に断層像で解析できる光干渉断層計（OCT）を行う方もいます。写真だけだと平面的にしかわからない眼底の構造もこの検査によって網膜の層構造や視神経線維の薄さなどが詳細にわかることができ、病気を見つけやすくなります。

さてここまでできてやっと医師の診察となります。医師の診察では上記の検査所見と細隙灯顕微鏡の所見、眼底検査の所見を総合して診断しています。

以上のように眼科の一連の診察は一つ一つ専門的な検査があり、待ち時間が多くかかってしまうのです。



Q 白内障と緑内障の差は为什么呢？

A 名前は似ていますが全く別の疾患です。白内障とはもともと人間に備わっているカメラのレンズの役割をする水晶体という組織

が加齢などにより濁って視力が低下してくることを言います。年をとればだれでもなる病気で手術をして治すことができます。

緑内障とは目と脳をつなぐ視神経が障害され、徐々に視野障害が広がってくる病気です。40歳以上の20人に1人は緑内障と考えられており加齢とともに有病率が上がります。緑内障は現在日本での失明原因の第1位です。点眼を一生続けることにより失明を防ぐ、という慢性の病気です。緑内障は初期には無症状のため検診で指摘されてわかることがほとんどです。検診で「視神経乳頭陥凹拡大」と指摘されて「要受診」になった方は緑内障の疑いがありますので忘れずに受診してください。

昔、白内障のことは「しろそこひ」、緑内障のことは「あおそこひ」とよばれていました。それぞれ末期で失明に近くなると白内障の方は傍からみると眼が白くなって、緑内障のかたは高眼圧のために角膜がにごって青（緑）っぽく見えることからそのように言われていたそうです。

Q 白内障はどのような手術をするのですか？

A 現在のスタンダードな手術方法では白内障の手術は3mm弱くらいの傷から濁ってしまった水晶体を超音波で削って吸引除去し、袋（水晶体嚢）だけ残っているところに人工のレンズを挿入する、ということを行います。手術時間は30分程度でほとんどの方は局所麻酔（点眼麻酔）で行えます。当院では日帰り・1泊入院・2泊3日入院とお選びいただけます。術後は手術翌々日まで毎日診察がありますので日帰りの方も連日通院が必要になります。

Q 白内障手術後に注意することはありますか？

A 術後1時間で歩いてトイレに行けるほどになり、日常生活は送れるようになりますが、術後は傷口が切りっぱなしのため、強く擦ったりいじったりすると創から菌がはいった

り、創口がめくれたりと大変危険です。目に包帯をするのは一晩だけなので後は保護眼鏡を目の包帯だと思って2週間程度常時かけてもらっています。洗顔やシャワーを浴びたりすることも数日は禁止しています。術後包帯をとると各種点眼をしてもらいます。これは抗生物質や炎症止め、散瞳剤などで回数が多くて高齢者には結構大変な作業なので点眼に不安がある方は入院がおすすめです。仕事をされている方はしばらくお休みをとる必要があるので医師にご相談ください。1週間ほど運転は禁止のため来院時は他の交通手段でお越しください。その他細かい注意は入院前のオリエンテーションで解説しますのでわからないこと、不安なことは医師・看護師に御相談ください。

Q 糖尿病と目の関係について

A 糖尿病を長い間患っていると網膜の細かい血管が障害されて糖尿病網膜症が発症します。糖尿病患者さんの三分の一程度に何らかの網膜症があると言われていて、腎症・神経症とならんで糖尿病の3大合併症の一つです。現在日本の失明原因の第3位で、放置していると働きざかりの年代から失明してしまうことのある恐ろしい病気です。この病気も初期には自覚症状はなく、症状を自覚したころには網膜症が進行し手遅れになるケースがあります。糖尿病といわれたら症状がなくても安心の為にも少なくとも年に1回は眼科受診をおすすめします。

日ごろから気になっていた『眼』のことがよくわかりました。





マンモグラフィ検査

放射線科
放射線技師
小暮美香



○増加傾向にある乳がん

日本人女性の部位別がん罹患率は乳がんが最も多く、9人に1人が乳がんになる時代です。リスク要因として飲酒や喫煙、閉経後の肥満などがあげられます。

乳がんの罹患率は30歳代後半から増加し始め、40歳代後半から50歳代前半でピークになります。さらに、閉経後の60歳代前半で再びピークを迎える傾向があります。

○定期的な検診で早期発見を

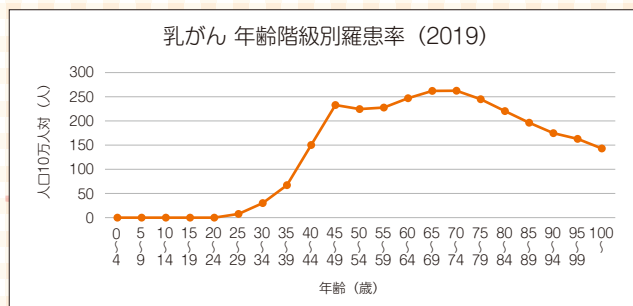
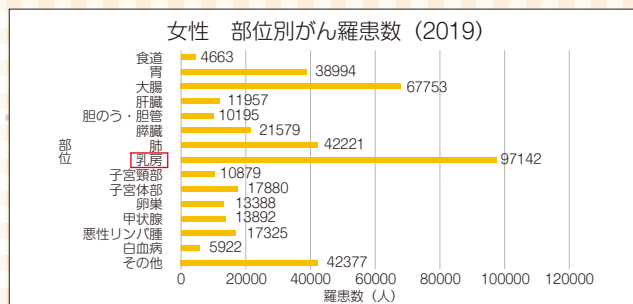
乳がんは5年生存率が高く、早期発見することができれば治る可能性が高いがんです。そのため、定期的に検診を受けることが重要です。検診では40歳以上を対象とし、2年に1回、問診とマンモグラフィを受診することが推奨されています。また月に1度のセルフチェックも大切です。

○マンモグラフィ

マンモグラフィでは視診、触診では発見しにくい小さな病変や、超音波検査では発見しにくい微細な石灰化を見つけることができます。撮影する際には専用の圧迫板で乳房を薄く広げ、しっかりと固定する必要があります。

あります。個人差はありますが、乳房を圧迫しているため痛みを伴うことがあります。痛みが強くて我慢できない場合は遠慮なくスタッフにお伝えください。

仕事や家事、育児など多忙な中でも、自分自身や家族のためにも検診を受けることをおすすめします。



群馬マラソン参加!

2023年11月3日(金)に前橋市で行われた第33回ぐんまマラソンに職員23名が参加しました。『Saiseikai maebashi』のチームTシャツを作製し、参加者とその家族で着用しました。



クラウドファンディング達成

11月1日にスタートした本プロジェクトは12月26日をもって終了となりました。

11月18日には第1目標である1,500万円を、28日には第2目標である2千万円を達成し、最終的には3千万円をはるかに超えるご寄付を頂くことができました。これまでたいへん多くの皆様から、ご寄付とあたたかい応援メッセージを頂いたことに、深く感謝申し上げます。

目標金額を超えた分のご寄付につきましては、救急搬送車（DMATカー）の装備や救急の受け入れ体制の充実のために大切に使用させていただきます。

当院は地域医療を支える基幹病院として、群馬の救急医療と全国の災害時派遣に対応し、地域一丸と

なっているのちを守って参ります。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



東公民館文化祭参加

2023年11月23日、24日の東公民館の文化祭に当院職員も参加しました。健康相談会を行い血圧測定・血管年齢測定を行い看護師から健康のアドバイス等を行いました。



YouTubeチャンネル開設

済生会のYoutubeチャンネルを開設することになり2023年10月から11月にかけて撮影を行いました。「看護師の1日密着」「看護助手の対談」「あずま荘ツアー」etc…順次アップしていきますので楽しみに♪





登録医大会を開催しました

地域連携課
課長

内田 貴誉志

10月24日、第15回済生会前橋病院登録医大会を開催させていただきました。地域医療支援病院として地域の先生方に当院の実績報告をするとともに直接顔を合わせて連携の強化を図るため毎年開催しておりましたが、ここ数年コロナ禍で開催出来ず、今回4年ぶりの開催となりました。地域の先生方と当院職員合わせ総勢約150名での会となりました。地域の医師会会長よりご挨拶、乾杯のご発声をいただき、久しぶりの会で懇親を深める中、当院細内院長から現在の病院の状況を、茂木副院長から日頃の連携のお礼と連携担当者の紹介を、そして外科・腹腔鏡外科センターの藍原代表部長からロボット支援手術（ダ・ヴィンチ）について実績等の報告を行い、当院の取り組みへの理解を深めていただきました。久しぶりの開催だったこともあり、私たち地域連携課の職員も事前準備から当日の運

営まで色々大変なこともありましたが、ご参加いただいた先生方からは「楽しかったよ」「直接みんなと会えて良かった」など温かいお言葉をいただき、感謝するとともに無事に終わって本当にほっとしています。この登録医大会を機にさらに地域の先生方としっかりと連携を取り、地域医療に取り組んでいければと思います。



ドリップコーヒーとお菓子で楽しい『あずま荘カフェ』



あずま荘 看護師長
齋藤 由美子

11月14日に『あずま荘カフェ』を開催しました。たくさんの種類のお菓子や飲み物の中から、利用者さんに選んで頂き、カフェの雰囲気を楽しんでもらいました。飲み物は、メニュー（本物のように作成）を見ながらオーダーして頂きました。1番人気だったのが、ドリップコーヒーでした。香りも良く、フロア全体にコーヒーの香りが漂い、本当のカフェのようでした。いつもと違う利用者さんの表情や好みなどを知ることができ、職員にとっても心温まる楽しい時間となりました。このようなイベントや日々のレクリエーションは、介護職員が中心となり企画し、多職種で行っています。12月はクリスマス会、1月は書き初め会を予定しております。職員全員で『明るく家庭的な雰囲気』を大切にし、毎日の生活を、より一層その人らしく生活していただけるよう努めていきたいと思ひます。



登録医紹介 ～当院は登録医の皆様と協力して診療をおこなっています～



岡村胃腸クリニック

院長 岡村 慎也

診療科 消化器内科・内視鏡内科・肛門内科

住 所 群馬県高崎市東町28-1

T E L 027-310-1211

医院紹介

当クリニックは地域の皆様が安心して気軽にお掛けいただける、専門的な消化器クリニックです。専門医による正確な診療とともに、分かりやすいご説明とお一人おひとりの状況に応じたアドバイスにより、患者さまの心身の負担軽減に努めております。各種検査においても、病気の早期発見に役立つ検査機器の導入とあわせ、患者さまの心身に負担が少ない技術の導入に日々取り組んでおります。特に、実際以上に辛いイメージを持つ方の多い内視鏡検査は、豊富な経験と最新技術導入によってより苦痛の少ない検査サービスの提供に努めています。診療に際しまして、ご希望などございましたら、お気軽にご遠慮なくご相談ください。外来予約お取りできますので詳しくはお電話、ホームページをご覧ください。

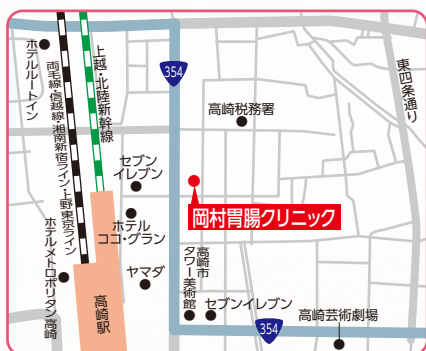
診療内容

腹痛、胸焼け、便秘、下痢、血便といった様々な消化器症状や、風邪、インフルエンザ、腹痛・頭痛・発熱などの一般的な急性疾患、生活習慣病（高血圧症、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症・痛風、肥満・メタボリックシンドローム）まで、一般内科の診断と治療を行っています。胃・大腸内視鏡検査、腹部超音波検査、腫瘍マーカー等の検査による消化器がんドックを行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30～12:30	○	○	○	9:30 12:00	○	○	/
16:00～18:30	○	○	○	/	○	/	/

※休診日：日曜・祭日・木曜土曜の午後

●ご案内MAP



栄養科通信 旬の食材メニューのお届け

おもちの肉巻き



★お正月に余ったおもちと豚肉を使ったアレンジ料理はいかがでしょう。
おもちと豚肉の照焼きを一緒に味わえて、満足できる1品です。

●材料(もち4枚分)●

- ・切りもち・・・・・・・・・・・・・・4枚(1枚50g程度)
- ・豚ロース薄切り肉・・・・・・・・・・・・・・200g
- A { 油・・・・・・・・・・・・・・大さじ1(12g)
- ・しょうゆ・・・・・・・・・・・・・・大さじ1(18g)
- ・みりん・・・・・・・・・・・・・・大さじ1(18g)
- ・酒・・・・・・・・・・・・・・大さじ1(15g)
- ・こねぎ・・・・・・・・・・・・・・10g

●作り方●

- ①切りもちは、縦半分に切る。Aの調味料を合わせておく。
- ②豚肉にもちをのせ、端からまいていく。
- ③フライパンに油を入れて熱し、②を入れて火が通るまで弱めの中火で焼く。
- ④もちに火が通ったら、Aを加えて煮からめる。
- ⑤器に盛り、小口切りにしたこねぎをちらしてできあがり。

栄養価(1人前)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	塩分
551kcal	22.0g	25.8g	56.2g	1.4g

外来医師診療表

◆休診日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制
【午後】完全予約制

2024年1月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金
内科総合外来	午前 9:00 10:30 12:00 (初診)	小 池*	直 田	直 田	交替制	石 田*
	午後(再診)	直 田			三 島	
					〈再診〉直 田	
血液内科	午前	星 野	高田・初見・星野 飯野・塚田・梶田	飯 野	高 田	初 見
	午後					
腎臓 リウマチ内科	午前	馬 場	都 野 【CKD外来】 木村(10:30～紹介)	三 島	三島(10:30～紹介)	半 田
	午後	木 村				
内分泌・ 糖尿病内科	午前		青 木*	青 木*	荻 原	荻 原
	午後	荻 原				
呼吸器内科	午前				久田*(第3休診)	
	午後	宇津木				
消化器内科	午前	【消化管・胆・膵】 中 野	【肝臓】 畑 中	【胆・膵・胃】吉 永 【胆・膵】吉 田	【胆・膵・胃】田中(9:30～10:30) 【大腸】蜂 巣	【胃・大腸・胆・膵】迫 【肝臓】齋 藤
	午後			【大腸】 家 崎*	【肝臓】 畑 中・齋 藤 高 木*(第1)	
循環器内科	午前	池 田・舘 野	中 野・福 田 戸 島	中 野・福 田 戸 島	中 野・舘 野 土 屋	池 田・土 屋 【睡眠障害外来】(第5休) 福 田・直 田
	午後	【禁煙外来】 池 田		【ペースメーカー外来】池田 【弁膜症・先天性心疾患外来】舘野		
外 科	午前	【胃・大腸・ヘルニア】 藍 原	【肝胆膵・大腸】 細 内	西 田	【胃・大腸・ヘルニア】 藍 原	【肝胆膵・大腸】細 内
		大 木	【乳 腺】鈴 木	【痔瘻専門外来】細内	【食 道】鈴 木	【肝胆膵】久 保
		古 家	【肝胆膵】久 保	【胃・大腸・ヘルニア】藍原 大 木	八 木・関	【肝胆膵】八 木
緩和ケア外来	午前					久 保
ストーマ外来	午前	○		○	○	
呼吸器外科	午前		茂 木			茂 木
整形外科 《完全予約制》	午前	後藤・長谷川・丹下	中 島・武 智	中 島・大 倉 有 澤	長谷川・武智・丹下	後 藤・大 倉 有 澤
リハビリテーション科	午後					【脊椎】井野(正)* (第3のみ)
	午前	白 倉	白 倉	外 山*	白 倉	白 倉
眼 科	午後		【装具外来】			
泌尿器科	午前	中村(第1・3・5特殊検査のみ)	中 村	福 地*・中 村	中 村	中 村
麻酔科ペインクリニック 《完全予約制》	午前	鈴 木*				
緩和ケア内科 《完全予約制》	午後		平 山	〈再診〉中 島	〈再診〉中 島	〈初診〉中 島
栄養サポート外来	午前/午後	○	○	○	○	○
療養指導	午前/午後	○	○	○	○	○
フットケア	午前/午後	午 後	午 後	午 後	午 後	午 前

※担当医師は変更することがあります。

【*：非常勤医師】

交通のご案内

- * 新前橋駅よりバスまたはタクシーで10分
- * 前橋駅よりバスで20分
- * 高崎駅よりバスで40分

* 前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。



お問い合わせ

☎027-252-6011(代)

紹介状をお持ちの方は、事前予約（内科総合外来以外）をお願い致します。地域連携課 TEL:027-252-1751(直通)

患者さんへ ● 前橋市成人健康診査のお問い合わせ

医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101

● 人間ドックのご予約

検診センター ☎027-252-1959 (直通)

介護関連 ● 入所・通所に関するご相談

老人保健施設あずま荘

☎027-254-0108

● 前橋市高齢者福祉サービスのご相談

地域包括支援センターあずま荘

● 介護保険サービスに関するご相談

居宅介護支援事業所あずま荘

☎027-255-1511